

I 本学のあらまし

1 はじめに

千葉県立保健医療大学は、千葉県立の衛生短期大学と医療技術大学校とを再編整備して設置した保健医療系の四年制大学です。

再編にあたり、看護学科、栄養学科、歯科衛生学科が入る幕張キャンパスは、衛生短期大学の施設を、リハビリテーション学科（理学療法学専攻、作業療法学専攻）が入る仁戸名キャンパスは、医療技術大学校の施設を、それぞれ利用して整備しました。

本学は、千葉県内で保健医療技術者を目指す学生を、総合的な健康づくりの推進力となる人材や、実践力があり将来的に指導者となりうる人材として育成し、県内医療機関等へ輩出するために設置したものです。

2 入学定員及び募集人員

学部名	学 科 名	入学定員	募集人員		
			一般選抜	特別選抜	編入学
健 康 科 学 部	看護学科	80人	48人	32人以内 (推薦+社会人若干名)	10人 以内
	栄養学科	25人	15人	10人以内 (")	—
	歯科衛生学科	25人	15人	10人以内 (")	—
	リハビリテーション学科 (理学療法学専攻) (作業療法学専攻)	50人 (25人) (25人)	30人 (15人) (15人)	20人以内 (") (10人以内 (")) (10人以内 ("))	—
合 計		180人	108人	72人以内 (")	10人 以内

3 本学で取得可能な資格

(1) 看護学科

看護学科の課程を修了すると、学士（看護学）の学位が授与されるとともに看護師と保健師の国家試験受験資格を得ることができます。また、選択により助産師の国家試験受験資格を得ることができます（ただし、人数に制限があります。）。

(2) 栄養学科

栄養学科の課程を修了すると、学士（栄養学）の学位が授与されるとともに管理栄養士の国家試験受験資格を得ることができ、申請により栄養士免許を得ることができます。また、選択により栄養教諭一種免許を得ることができます。

(3) 歯科衛生学科

歯科衛生学科の課程を修了すると、学士（歯科衛生学）の学位が授与されるとともに歯科衛生士の国家試験受験資格を得ることができます。

(4) リハビリテーション学科

① 理学療法学専攻の課程を修了すると、学士（理学療法学）の学位が授与されるとともに理学療法士の国家試験受験資格を得ることができます。

② 作業療法学専攻の課程を修了すると、学士（作業療法学）の学位が授与されるとともに作業療法士の国家試験受験資格を得ることができます。

II 入学者受入方針（アドミッションポリシー）

1 看護学科

（1）求める学生像

医療の高度化・専門化や社会の多様化に対応できる看護専門職に必要な専門的知識と技術を身につけ、県内の看護職のリーダーとなりうることはもとより、国際的にも貢献できる高い資質をもった人材の育成を基本理念とし、以下の学生を求めます。

- ① 看護を通して、社会に貢献する意欲がある人
- ② 人々の生活や生き様に強い関心を持ち、相手の立場に立って考えることができる人
- ③ 知的好奇心が旺盛で探究心がある人
- ④ 幅広い基礎学力を持ち、論理的・客観的に考える力を持つ人
- ⑤ 自己を表現する力を持つ人

（2）選抜方法

① 特別選抜・推薦

将来、千葉県内で看護職として活躍することを志望する強い意志がある人材を求めます。出願資格を全て満たし、出身高等学校長の推薦を受けた者を対象に、大学入試センター試験を免除して、小論文（100点）と面接（100点）の試験及び出願書類の内容から総合的に判定します。

② 特別選抜・社会人

社会人としての経験を持ち、卒業後千葉県内で看護職として活躍することを志望する強い意志がある人材を求めます。大学の入学資格を有し、出願資格を全て満たす者を対象とし、大学入試センター試験を免除して、英文読解を含んだ小論文（100点）と面接（100点）の試験及び出願書類の内容から総合的に判定します。

③ 編入学

既習の看護学をさらに深めるとともに、幅広い教養を身につける意欲が旺盛で、卒業後、看護職に従事する強い意志をもつ人材を求めます。出願資格に該当する者を対象とし、看護学全般の専門知識に関する記述試験（100点）および英文読解を含んだ小論文（100点）と面接（100点）の試験、出願書類の内容から総合的に判定します。

④ 一般選抜

看護学を学ぶ意志のある人材を求めます。大学入試センター試験および個別学力検査等の結果と調査書等の提出書類の内容を総合的に判定して行います。大学入試センター試験、小論文（150点）と面接（100点）による試験を実施します。詳細は入学者選抜要項のとおりです。

（3）入学までに身に付けてほしいこと

専門職は、創造的に解決策を見出していく能力が求められます。そのため、固定観念にとらわれず、知的好奇心をもって自ら積極的に調べ、疑問や問題を解決する習慣を身につけてきてください。また、看護の対象とする人々は多様です。異なる年代や価値観を持つ人たちと共に活動する経験をしてきてください。

多様な人々とコミュニケーションをとるための学習や物事を論理的に考えるための学習、及び、人々の生命現象や生活を理解するための学習をしてきてください。例えば、前者には、国語、英語、数学の学習が役立ちます。また、後者には、生物、化学、物理、地理歴史、公民の学習が役立ちます。大学での学びの基盤となる幅広い基礎学力を身につけてきてください。

2 栄養学科

(1) 求める学生像

栄養学科では、生命活動を分子レベルで理解することを基本とした栄養学分野を総合的に学び、豊かな人間性を備え、心身の健康に大きく貢献できる人材、人の栄養状態を適正化する方法を総合的・科学的に探究できる人材の育成を基本理念とし、以下の学生を求めます。

- ① 管理栄養士の国家試験受験資格の取得を前提目標として学ぶ意欲を持つ人
- ② 倫理的な原則を遵守し、専門職としての責務を果たすことができる人
- ③ 科学的な裏づけで得られた専門的な知識・技能を、健康づくりに貢献できる人
- ④ 多職種との相互理解を深めながらコミュニケーションや行動ができる人
- ⑤ 個人・家族・地域社会・他国への貢献や生涯にわたる自己研さんができる人

(2) 選抜方法

① 特別選抜・推薦

将来、千葉県内で管理栄養士として活躍することを志望する強い意志がある人材を求めます。小論文・面接試験を課しています。小論文(100点)は物事を論理的に考え理解したことを自分の言葉で表現する能力を、面接(100点)では健康状態、高校生活、一般的質問、簡単な専門的質問についての質疑応答を通して、保健医療従事者に求められる責任感および道徳観、適性、意欲、コミュニケーションなどの能力を総合的に判定します。

② 特別選抜・社会人

社会人としての経験を生かして千葉県内で管理栄養士として活躍することを志望する強い意志がある人材を求めます。小論文・面接試験を課しています。小論文(100点)は論理的思考能力、表現力、理解力、学力を問う問題(英語)を、面接(100点)では健康状態、社会経験、簡単な専門的質問についての質疑応答を通して、保健医療従事者に求められる責任感および道徳観、適性、意欲、コミュニケーションなどの能力を総合的に判定します。

③ 一般選抜

管理栄養士として活躍することを志望する人材を広く求めます。大学センター試験の5教科6科目、二段階選抜試験では、小論文(150点)・面接(100点)試験を課しています。小論文は物事を論理的に考え理解したことを自分の言葉で表現する能力を、面接では健康状態、一般的質問、簡単な専門的質問についての質疑応答を通して、保健医療従事者に求められる責任感および道徳観、適性、意欲、コミュニケーションなどの能力を総合的に判定します。

(3) 入学までに身に付けてほしいこと

入学を希望する人は、コミュニケーション能力、新しい事象の理解力や問題解決に取り組む能力、物事を論理的に考え理解したことを自分の言葉で表現する能力を必要とする専門科目を学ぶために、高等学校において、英語、数学、国語、化学基礎および生物基礎を中心とした基礎学力を身に付けておいてください。

3 歯科衛生学科

(1) 求める学生像

歯科衛生学科では、高い倫理観と豊かな人間性を備え、地域社会に貢献し、口腔保健の専門知識と技能を身につけるための科学的探究心を持ち、保健医療の国際化に対応できる人材の育成を基本理念とし、以下の学生を求めます。

- ① 口腔の健康に深い関心を持ち、人々の健康増進に貢献したい人
- ② 豊かな人間性を備え、相手の気持ちを理解できる人
- ③ 科学的な探究心を持ち、自ら意欲的に取り組もうとする人
- ④ 想像力や表現力が豊かで、自分の考えや意見を論理的に説明できる人
- ⑤ コミュニケーションを通じて人々と協調できる人

(2) 選抜方法

① 特別選抜・推薦

千葉県内で歯科衛生士として活躍することを志望する強い意志がある人材を求めます。小論文試験（100点）と面接試験（100点）により学生を選抜します。小論文では、論理的・客観的な表現力について判定します。面接では、勉学意欲を含め、協調性、論理的に説明する力を総合的に判定します。

② 特別選抜・社会人

社会人としての経験を生かして千葉県内で歯科衛生士として活躍することを志望する強い意志がある人材を求めます。小論文試験（100点）と面接試験（100点）により学生を選抜します。小論文では、論理的・客観的な表現力について判定します。面接では、勉学意欲を含め、協調性、論理的に説明する力を総合的に判定します。

③ 一般選抜

歯科衛生士として地域で活躍することを志望する人材を広く求めます。大学入試センター試験（550点）および個別学力検査での小論文試験（150点）と面接試験（100点）により学生を選抜します。小論文では、論理的・客観的な表現力について判定します。面接では、勉学意欲を含め、協調性、論理的に説明する力を総合的に判定します。

(3) 入学までに身に付けてほしいこと

口腔の健康管理を通して地域社会に貢献する歯科衛生学を学ぶためには、高等学校で学習する基礎的な知識・技能が幅広く求められます。同時に、豊かな人間性を高めつつ、他者とコミュニケーションを上手に図れるようにすることが大切です。

入学までに身につけておくべき主な科目は次のものです。

国語：近代以降の文章において、筋道を立てて読み取る読解力とともに、正しく明確な表現力を身につけておくこと。

地理歴史・公民：広く社会に関心を持ち、多様な価値観があることを理解しておくこと。

英語：基礎的な読解力やリスニング、発信力を身につけておくこと。

数学：統計学などで必要となる論理的な思考力を身につけておくこと。

理科：自然科学に関心を持ち、その基礎的な考え方を身につけておくこと。

4 リハビリテーション学科理学療法学専攻

(1) 求める学生像

理学療法士として社会に貢献する意志と能力を持った人材の育成を基本理念とし、以下の学生を求めます。

- ① 理学療法士の役割を理解し、理学療法士となる明確な目的意識を有している人
- ② 理学療法学を学んでいくにあたって必要な基礎学力を有している人
- ③ 自分の意見を適切な日本語で表現できる人

- ④ 障害のある人に対してもない人に対しても、適切なコミュニケーション能力を有している人
- ⑤ 保健医療福祉領域だけでなく広く社会に関心が高く、様々な問題に挑戦できる人

(2) 選抜方法

① 特別選抜・推薦

将来、千葉県内で理学療法士として活躍することを志望する強い意志がある人材を求めます。

- ・小論文では、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題文に対する読解力、論理的思考力、国語表現力等を評価します。
- ・面接では、調査書等の出願書類を参考に、理学療法士を目指す動機、意欲、努力、適性等を総合的に評価します。

② 特別選抜・社会人

将来、千葉県内で理学療法士として活躍することを志望する強い意志がある人材を求めます。

- ・小論文では、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題文に対する読解力、論理的思考力、国語表現力等を評価します。
- ・面接では、出願書類を参考に、今までの経歴を経て、理学療法士を目指す動機、意欲、努力、適性等を総合的に評価します。

③ 一般選抜

- ・基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（550点）を課すとともに、小論文（150点）で課題文に対する読解力、論理的思考力、国語表現力等を評価します。
- ・面接（100点）では、調査書等の出願書類を参考に、理学療法士を目指す動機、意欲、努力、適性等を総合的に評価します。

(3) 入学までに身に付けてほしいこと

理学療法学を深く理解するため、理系科目、特に物理（力学，熱力学，電磁力学）についての基礎的知識と科学的な思考力を身につけていることが望まれます。

5 リハビリテーション学科作業療法学専攻

(1) 求める学生像

豊かな人間性や高い倫理観、鋭敏な感受性と多彩な表現力を基に、対象者の立場になって作業療法を提供できる態度・能力を身につけ、人々の健康づくりを支援し、作業療法の臨床、教育、研究の発展に貢献できる人材の育成を教育理念とし、次のような学生を求めます。

- ① 対象者とそれを支える人、保健・医療・教育・福祉職に対してお互いの立場を尊重した人間関係を構築し、生き生きとしたコミュニケーションをとることを望んでいる人
- ② 個人・家族・地域が健康的またはその人らしい生活を送るための健康づくり支援を提供したいと思っている人
- ③ 人々の健康的またはその人らしい生活を送るための問題解決と健康増進に向けて、健康を志向する地域環境（人・物・制度）の整備・改善に努めたいと思っている人
- ④ 対象者を中心とした安全で質の高い保健・医療・福祉を実践するために、自身の役割を認識し、多職種との相互理解を深めながら行動する適性を持っている人
- ⑤ 論理的思考による探究心を身につけ、自己研鑽に励み、倫理的な原則を遵守し、専門職としての責務を果たす適性を持っている人

(2) 選抜方法

① 特別選抜・推薦

将来、千葉県内で作業療法士として活躍することを志望する強い意志がある人材を求めます。
小論文（100点）では、課題文に対する読解力、論理的思考力、文章表現力等を評価します。
面接（100点）では、調査書等の出願書類を参考に、作業療法学専攻を志願する理由、意欲、適性などを総合的に評価します。

② 特別選抜・社会人

将来、千葉県内で作業療法士として活躍することを志望する強い意志がある人材を求めます。
小論文（100点）では、高校及びその後の社会人経験の中で身につけた学力を前提に、課題文に対する読解力、論理的思考力、文章表現力等を評価します。

面接（100点）では、調査書等の出願書類を参考に、出願までの経歴を経て、作業療法学専攻を志願する理由、意欲、適性などを総合的に評価します。

③ 一般選抜

大学入試センター試験（550点）を課すとともに、小論文（150点）で課題文に対する読解力、論理的思考力、文章表現力等を評価します。

面接（100点）では、調査書等の出願書類を参考に、作業療法学専攻を志願する理由、意欲、適性などを総合的に評価します。

(3) 入学までに身に付けてほしいこと

作業療法学を習得するために、「物理」、「人体の機能（生理学）」、「人体の構造（解剖学）」、「運動学」の科目は全員が必ず履修しなければいけない必修科目です。高等学校の教科では生物基礎、化学基礎、物理基礎がこれらの科目の基礎になりますので、身につけておいてください。

Ⅲ 一般選抜

1 出願資格

本学が指定する平成30年度大学入試センター試験の教科・科目を受験した者で、次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は平成30年3月に卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）又は平成30年3月修了見込みの者
- (3) 文部科学大臣が定めた（1）と同等以上の学力があると認められた次のいずれかに該当する者
 - ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - ③ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - ④ 文部科学大臣の指定した者
 - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定（以下「旧検定」という。）に合格した者を含む。）又は平成30年3月までに合格する見込みの者

2 出願期間

平成30年1月22日（月）～平成30年1月31日（水）（必着）

3 選抜方法

大学入試センター試験及び個別学力検査等の結果と調査書等の提出書類の内容を総合的に判定して行います。

なお、欠員が生じた場合の補充の方法は、追加合格により行います。

また、出願者数が、その学科・専攻の募集人員の3倍を超えた場合には、2段階選抜を行うことがあります。この場合は、大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を実施し、第1段階選抜の合格者に対してのみ個別学力検査等の第2段階選抜を実施します。最終合格者は、大学入試センター試験及び個別学力検査等の結果と調査書等の提出書類の内容を総合的に判定して決定します。

選抜区分	学科・専攻		大学入試センター試験	個別学力検査等		欠員補充 (追加合格)
				小論文	面接	
一般選抜	看護学科		課す	課す	課す	あり
	栄養学科		課す	課す	課す	あり
	歯科衛生学科		課す	課す	課す	あり
	リハビリテーション学科	理学療法学専攻	課す	課す	課す	あり
		作業療法学専攻	課す	課す	課す	あり

4 試験日程

(前期日程) 平成30年2月25日（日）

5 試験教科・科目・配点

(1) センター試験

教科	学科・専攻	区分	科目	配点
国語	全学科・専攻	必須	「国語」(近代以降の文章の問題のみ)	100
地理歴史・公民	全学科・専攻	右の科目から1科目を選択	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」	100
数学	全学科・専攻	右の科目から1科目を選択	「数学I・数学A」、「数学II・数学B」	100
理科	看護学科	右の科目から2科目を選択	「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」(※1)	100
	栄養学科	右の科目から2科目を選択	「化学基礎」(必須)と、「物理基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から1科目(※2)	100

	歯科衛生 学科	右の科目か ら2科目を 選択	「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」(※3)	100
	リハビリテ ーション学 科・理学療 法学専攻	右の科目か ら2科目を 選択	「物理」、「化学」、「生物」(※4)	100
	リハビリテ ーション学 科・作業療 法学専攻	右の科目か ら2科目ま たは1科目 を選択	「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」から2科目、または 「物理」、「化学」、「生物」から1科目(※5)	100
外国語	全学科 ・専攻	必須	「英語」(リスニングを含む)	150

(※1) 「基礎を付した科目」2科目と、「基礎を付さない科目」1科目を選択した場合には、「基礎を付した科目」2科目を利用する。「基礎を付さない科目」の中から2科目を選択した場合は、「基礎を付した科目」とみなして利用する。この場合は、合計得点(200点満点)を100点満点に換算して利用する。「基礎を付さない科目」1科目のみでの出願は認めない。

(※2) 「基礎を付した科目」2科目と、「基礎を付さない科目」1科目を選択した場合には、「基礎を付した科目」2科目を利用する。ただし、「化学基礎」は必須とする。「基礎を付さない科目」の中から2科目を選択した場合は、「基礎を付した科目」とみなして利用する。この場合は、「化学」を必須とする。また、合計得点(200点満点)を100点満点に換算して利用する。「基礎を付さない科目」1科目のみでの出願は認めない。

(※3) 「基礎を付した科目(地学基礎を除く)」2科目と、「基礎を付さない科目(地学を除く)」1科目を選択した場合には、「基礎を付した科目(地学基礎を除く)」2科目を利用する。「基礎を付さない科目(地学を除く)」の中から2科目を選択した場合は、「基礎を付した科目」とみなして利用する。この場合は、合計得点(200点満点)を100点満点に換算して利用する。「基礎を付さない科目」1科目のみでの出願は認めない。

(※4) 合計得点(200点満点)を100点満点に換算して利用する。

(※5) 「基礎を付した科目」から2科目(①)、「基礎を付さない科目」から1科目(②)の合計3科目受験した場合は、①と②の高得点の方を使用する。「基礎を付さない科目」から2科目を選択した場合は、高得点の科目の成績を使用する。

○「基礎を付した科目」とは、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」を指す。「基礎を付さない科目」とは「物理」、「化学」、「生物」、「地学」を指す。

○国語は、近代以降の文章の成績のみを使用する。

○地理歴史・公民、数学、理科については、指定科目数以上受験した場合、高得点の科目の成績を使用する。

○外国語(英語)は、リスニングテストを含む成績を使用する。

(2) 個別学力検査等

① 小論文(配点: 150点満点)

② 面接(配点: 100点満点)

6 合格発表日

平成30年3月8日(木)

7 入学手続期間

平成30年3月9日(金)から3月15日(木)

8 追加合格

各学科、専攻の入学定員に欠員が生じた場合には、追加合格者の発表を行います。

(1) 対象者

本学の一般選抜試験日程の受験者で、いずれの国公立大学にも入学手続を行っていない者。ただし、本学の一般選抜試験日程に係る入学辞退者は、当該日程の追加合格者の対象としません。

(2) 発表方法

追加合格候補者に対し、平成30年3月28日(水)以降に、電話により直接本人に連絡します。

IV 特別選抜

本学では、特別選抜として、推薦入学及び社会人特別選抜を行います。

※ 社会人特別選抜の募集人員は、特別選抜の募集人員の内数となります。

1 推薦入学

(1) 出願資格

次の条件をすべて満たす者で、かつ、高等学校(中等教育学校を含む。以下同じ。)の長が志願者の志望学科に対する適性及び人物について責任を持って推薦する者としてします。

推薦できる人数は、1高等学校につき各学科・専攻ごとに2名までとします。

ア 千葉県内の高等学校を平成30年3月に卒業見込みの者(学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第104条第3項の規定により、平成29年度の途中において学期の区分に従い、高等学校の卒業を認められた者及び認められる者を含む。以下同じ。)、又は、本学に入学する年の前の4月1日以前から本人又は配偶者若しくは一親等の直系尊属が引き続き千葉県内に住所を有する者*で、千葉県外の高等学校を平成30年3月に卒業見込みの者

※「千葉県内に住所を有する者」については、住民票に基づいて確認します。

イ 合格した場合、本学に入学すると確約できる者

ウ 本学を卒業後、保健医療技術者等として千葉県内で就職することを強く希望する者

エ 健康で、出願時までの評定平均値が3.8以上の者

(2) 出願期間

平成29年11月1日(水)～平成29年11月8日(水)(必着)

(3) 選抜方法

大学入試センター試験を免除して、小論文と面接の試験を行い、その結果と調査書等の提出書類の内容について総合的に判定して行います。

選抜区分	学科・専攻	大学入試センター試験	小論文	面接	欠員補充(追加合格)	
特別選抜 (推薦入学)	看護学科	課さない	課す	課す	なし	
	栄養学科	課さない	課す	課す	なし	
	歯科衛生学科	課さない	課す	課す	なし	
	リハビリテーション学科	理学療法学専攻	課さない	課す	課す	なし
		作業療法学専攻	課さない	課す	課す	なし

(4) 試験日程

平成29年11月18日(土)

(5) 合格発表日

平成29年12月4日(月)

(6) 試験教科・科目

①小論文(配点:100点満点)

②面接(配点:100点満点)

(7) 入学手続期間

平成29年12月14日(木)から12月15日(金)

2 社会人特別選抜

(1) 出願資格

学校教育法第90条第1項及び学校教育法施行規則第150条(第6号及び第7号を除く)により文部科学大臣が定める、大学に入学することのできる者であって、次のすべてに該当又は該当する見込みの者とします。

ア 平成30年4月1日現在で満23歳に達する者

イ 通算して2年以上の社会人経験を有する者

ウ 次のいずれかに該当する者

1) 千葉県内に平成29年4月1日以前から引き続き住所を有する者 ※

2) 出願時(平成29年11月1日)現在、千葉県内の企業等に勤務している者であり、千葉県内の企業等に通算して2年以上勤務している者

※住所は、住民票に基づいて確認します。

エ 本学で修学、卒業後、保健医療技術者等として千葉県内で就職することを強く希望する者

オ 志望する学科等に応じて、次表に定める国家資格をそれぞれ有していない者

志望する学科等	有していない国家資格
看護学科	看護師、保健師、助産師
栄養学科	管理栄養士
歯科衛生学科	歯科衛生士
リハビリテーション学科 理学療法学専攻	理学療法士
リハビリテーション学科 作業療法学専攻	作業療法士

(2) 出願期間

平成29年11月1日(水)～平成29年11月8日(水)(必着)

(3) 選抜方法

大学入試センター試験を免除して、小論文と面接の試験を行い、その結果と調査書等の提出書類の内容について総合的に判定して行います。

選抜区分	学科・専攻	大学入試センター試験	小論文	面接	欠員補充(追加合格)	
特別選抜 (社会人特別選抜)	看護学科	課さない	課す	課す	なし	
	栄養学科	課さない	課す	課す	なし	
	歯科衛生学科	課さない	課す	課す	なし	
	リハビリテーション学科	理学療法学専攻	課さない	課す	課す	なし
		作業療法学専攻	課さない	課す	課す	なし

(4) 試験日程

平成29年11月18日(土)

(5) 合格発表日

平成29年12月4日(月)

(6) 試験教科・科目

①小論文(配点:100点満点)

英文読解を含んだ小論文

②面接(配点:100点満点)

(7) 入学手続期間

平成29年12月14日(木)から12月15日(金)

V 編入学(3年次)

1 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

(1) 短期大学(看護学科)を卒業した者又は平成30年3月卒業見込みの者

(2) 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上であることその他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。)を修了した者又は平成30年3月までに修了見込みの者

(ただし、学校教育法第90条第1項に規定する大学入学資格を有する者で、看護師になるために必要な課程を修了した者又は平成30年3月修了見込みの者に限る。)

(3) 高等学校等の専攻科の課程(修業年限が2年以上であることその他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。)を修了した者又は平成30年3月までに修了見込みの者

(ただし、学校教育法第90条第1項に規定する大学入学資格を有する者で、看護師になるために必要な課程を修了した者又は平成30年3月修了見込みの者に限る。)

2 出願期間

平成29年11月1日（水）～平成29年11月8日（水）（必着）

3 選抜方法

大学入試センター試験を免除して、小論文、専門科目及び面接の試験を行い、その結果と調査書等の提出書類の内容について総合的に判定して行います。

選抜区分	学科・専攻	大学入試センター試験	小論文	専門科目	面接	欠員補充（追加合格）
編入学	看護学科	課さない	課す	課す	課す	なし

4 試験日程

平成29年11月19日（日）

5 合格発表日

平成29年12月4日（月）

6 試験教科・科目

①専門科目（配点：100点満点）

看護学全般の専門知識に関する記述試験

②小論文（配点：100点満点）

英文読解を含んだ小論文

③面接（配点：100点満点）

7 入学手続期間

平成29年12月14日（木）から12月15日（金）

VI 変更予告

平成31年度千葉県立保健医療大学入学者選抜（一般選抜）より、健康科学部リハビリテーション学科理学療法学専攻における大学入試センター試験利用科目「理科」について以下のとおり変更します。

【平成30年度】

「物理」、「化学」、「生物」から2科目を選択（※）配点100

（※）合計得点（200点満点）を100点満点に換算して利用する。

【平成31年度からの変更】

「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」から2科目、または「物理」、「化学」、「生物」から1科目（※）配点100

（※）「基礎を付した科目」から2科目（①）、「基礎を付さない科目」から1科目（②）の合計3科目受験した場合は、①と②の高得点の方を使用する。「基礎を付さない科目」から2科目を選択した場合は、高得点の科目の成績を使用する。

Ⅶ その他

1 今後の公表予定について

入学試験に関する事項で、今後、公表する予定のものもあります。詳しくは大学のホームページ及び学生募集要項でご確認ください。

2 学生募集要項（入学願書）について

平成29年9月上旬頃から順次公表する予定です。請求方法等、詳しくは大学のホームページでご確認ください。

※ 諸事情により、期間等は変更になる場合があります。変更が生じた場合には、大学のホームページ及び学生募集要項で公表します。

入学試験に関する問い合わせ先

千葉県立保健医療大学 学生支援課
TEL：043-296-2000（代表）
〒261-0014 千葉県千葉市美浜区若葉2丁目10番1号
千葉県立保健医療大学ホームページ
(<http://www.pref.chiba.lg.jp/hoidai/index.html>)

